

# Cisco Prime Network Registrar 8.2 互換性考慮事項を用いる Cisco プライム記号 IPAM 8.1.2

TAC

Document ID: 117365

Updated: 2015 年 9 月 08 日

著者 : Cisco エンジニア



[PDF のダウンロード](#)

[印刷](#)

[フィードバック](#)

## 関連製品

- [Cisco Prime Network Registrar 8.2](#)

この資料は Cisco Prime Network Registrar IPアドレス管理 ( Cisco Prime Network Registrar 8.2 の IPAM ) の互換性を 8.1.2/8.1.3 記述したものです。それは IPAM 8.1.2/8.1.3 が可能にするために Cisco Prime Network Registrar 8.2 を使用することを IPAM 管理/リモート エージェントをインストールするとき行う必要がある変更を説明します。

この資料はまた IPAM 8.1.2/8.1.3 と使用することができる Cisco Prime Network Registrar 8.2 機能を識別したものです。

## 目次

[はじめに](#)

[要件](#)

[Cisco Prime Network Registrar 8.2 の IPAM 8.1.2 -セットアップ](#)

[Cisco Prime Network Registrar 8.2 の新しい 機能](#)

[Prime Network Registrar 8.2 と使用された場合主な IPAM 8.1.2/8.1.3 に関する制限事項](#)

[サポートされていない Cisco Prime Network Registrar 8.2 機能](#)

[IPAM 8.1.2/8.1.3 で設定されないべき非難された属性](#)

[DNSサーバ 設定 ページ](#)

[/リバースゾーン 設定 ページ順方向に編集して下さい](#)

[セカンダリ ゾーン 設定 ページを編集して下さい](#)

[HA DNS ペア設定 ページ](#)

[DHCP Server ページ](#)

## はじめに

### 要件

Cisco Prime Network Registrar 8.2 Software Development Kit ( SDK ) パッケージが IPAM Cisco Unified Mobile Agent の「cnrsdk」フォルダを取り替えるのに使用する必要があります。

**注:** Cisco Prime Network Registrar 8.2 を管理するために IPAM 8.1.3 を使用するとき IPAM 8.1.3 に Cisco Prime Network Registrar 8.2 SDKs がデフォルトであるので手動で SDKs を取り替えるためにステップをスキップできます。この資料で述べられるすべてのその他の制限は変わりません。

## Cisco Prime Network Registrar 8.2 の IPAM 8.1.2 -セットアップ

IPAM 8.1.2 を Cisco Prime Network Registrar 8.2 を使用させます IPAM エグゼクティブ/リモートエージェントの「cnrsdk」フォルダ ( <INC-HOME>/cnrsdk ) は最新の Cisco Prime Network Registrar 8.2 SDK パッケージと取り替えられなければなりません。IPAM 8.1.2 およびそれ以降では、Cisco Prime Network Registrar 8.x を管理する IPAM Cisco Unified Mobile Agent の使用は必須です。それは IPAM 8.1.2 リモート エージェントのだけ「cnrsdk」フォルダを取り替えることを足ります。

これらは手順 IPAM Cisco Unified Mobile Agent の「cnrsdk」フォルダを取り替えるためにです:

1. IPAM 8.1.2 リモート エージェントを停止して下さい。Linux/Solaris 用: <INC-HOME>/etc/incontrol 停止Windows の場合: IPAM サービスを停止するために Windows サービス コントローラを使用して下さい。デフォルトで <INC-HOME> ディレクトリのための:Windows : C:\Program Files\Cisco\Cisco Prime Network Registrar IPAMLinux/Solaris: /opt/incontrol
  2. 「<INC-HOME>/cnrsdk」フォルダへのナビゲートか IPAM Cisco Unified Mobile Agent サーバのサブディレクトリ。
  3. 「cnrsdk」フォルダまたはサブディレクトリのすべてのファイル/フォルダを、ないフォルダまたはサブディレクトリ自体を取除いて下さい。
  4. 「<INC-HOME>/cnrsdk」フォルダに Cisco Prime Network Registrar 8.2 SDK パッケージを (たとえば、Linux のための cnrsdk-8.2.1311191408-Linux.tar) コピーして下さい。
  5. Cisco Prime Network Registrar 8.2 SDK パッケージを得て下さい。
  6. <INC-HOME>/cnrsdk/classes ディレクトリから <INC-HOME>/classes ディレクトリに cnrsdk.jar をコピーして下さい。cp <INC-HOME>/cnrsdk/classes/cnrsdk.jar <INC-HOME>/classes
- 注:** 古い cnrsdk.jar ファイルの名前を変更するか、またはそれを上書きして下さい。

7. IPAM 8.1.2 Cisco Unified Mobile Agent を開始して下さい。Linux/Solaris 用: <INC-HOME>/etc/incontrol 開始する ( IPAM エージェントを開始するために「incadmin」ユーザとしてログオンする必要があります )。Windows の場合 : IPAM サービスを開始するために Windows サービス コントローラを使用して下さい。「cnrsdk」フォルダが Cisco Prime Network Registrar 8.2 SDK と取り替えられ、cnrsdk.jar ファイルが <INC-HOME>/classes ディレクトリにコピーされれば、IPAM 8.1.2 は Windows および Linux プラットフォームの Cisco Prime Network Registrar 8.2 と使用することができます。

### Solaris ユーザ向け

「cnrsdk」フォルダの置換および IPAM Cisco Unified Mobile Agent の <INC-HOME>/classes ディレクトリへの「cnrsdk.jar」ファイルのコピーに加えて IPAM 8.1.2 を Solaris 環境の Cisco Prime Network Registrar 8.2 を使用させます、「<INC-HOME>/etc」フォルダの「shrc」ファイルの LD\_LIBRARY\_PATH の値は修正する必要があります。LD\_LIBRARY\_PATH の値を修正するために次の手順に従って下さい:

1. IPAM 8.1.2 Cisco Unified Mobile Agent を停止して下さい。<INC-HOME>/etc/incontrol 停止
2. 「<INC-HOME>/etc」フォルダの「shrc」ファイルを開いて下さい。
3. Cisco Prime Network Registrar 8.2 ローカルクラスタの「ライブラリ」フォルダを含むために LD\_LIBRARY\_PATH の値を修正して下さい。LD\_LIBRARY\_PATH の既存の値  
:LD\_LIBRARY\_PATH=\$LD\_LIBRARY\_PATH: \$INCHOME/cnrsdk/lib;LD\_LIBRARY\_PATH の New 値  
:LD\_LIBRARY\_PATH=\$LD\_LIBRARY\_PATH:\$INCHOME/cnrsdk/lib:/opt/nwreg2/local/lib;  
( Cisco Prime Network Registrar のインストール ディレクトリがデフォルト ディレクトリ ) なら。
4. IPAM 8.1.2 Cisco Unified Mobile Agent を開始して下さい。<INC-HOME>/etc/incontrol 開始する ( IPAM エージェントを開始するために「incadmin」ユーザとしてログオンする必要があります )。「cnrsdk」フォルダを取り替えた後これらのステップが実行されれば、IPAM 8.1.2 は Solaris プラットフォームの Cisco Prime Network Registrar 8.2 と使用することができます。

## Cisco Prime Network Registrar 8.2 の新しい 機能

これらの新しい 機能は Prime Network Registrar 8.2 と導入されます:

- DNS データベース 拡張
- DNS 意見
- DNS 列挙
- CDNS ドメイン リダイレクト
- DHCPID RR サポート
- DHCPv6 ダイナミック リース 通知
- DHCPv6 フェールオーバー
- 拡張 な Web UI

## Prime Network Registrar 8.2 と使用された場合主な IPAM 8.1.2/8.1.3 に関する制限事項

このセクションは Cisco Prime Network Registrar 8.2 を管理するために IPAM 8.1.2/8.1.3 が使用

されるときサポートされないか、または使用することができない Cisco Prime Network Registrar 8.2 機能を説明しています。また Cisco Prime Network Registrar 8.2 の DHCP および Domain Name Servers ( DNS ) の非難された属性のリストが含まれています。これらの属性は IPAM 8.1.2/8.1.3 で IPAM 8.1.2/8.1.3 を Cisco Prime Network Registrar 8.2 と互換性を持たせるために設定するべきではありません。

## サポートされていない Cisco Prime Network Registrar 8.2 機能

IPAM 8.1.2/8.1.3 が Cisco Prime Network Registrar 8.2 を管理すればのに使用されている場合これらの機能は Cisco Prime Network Registrar 8.2 で設定するべきではないし、使用することができません:

- DNS 意見
- DNS 列挙

Cisco Prime Network Registrar 8.2 の DNS 意見または DNS 列挙オブジェクトの設定は IPAM 8.1.2/8.1.3 の DNS 配備タスクの失敗に終わります。

## IPAM 8.1.2/8.1.3 で設定されないべき非難された属性

Cisco Prime Network Registrar 8.2 で非難されるいくつかの DHCP/DNS 属性があります。非難された属性の値が IPAM 8.1.2/8.1.3 の DHCP/DNS サーバページで設定される場合、DHCP/DNS 配備タスクは失敗します。非難された属性のこのリストは IPAM 8.1.2/8.1.3 で設定するべきではありません。

## DNSサーバ 設定 ページ

これらの属性は Cisco Prime Network Registrar 8.2 の DNSサーバ ページで非難されます。IPAM 8.1.2/8.1.3 のこれらの属性の設定は DNS 配備タスクの失敗に終わります。

基本および拡張モード属性:

```
auth-db-cache-kbytes
checkpoint-interval (Zone Checkpoint Interval)
fake-ip-name-response (Fake responses for IP address-like names)
hide-subzones (Hide Subzones)
notify-defer-cnt (NOTIFY max. changes to accumulate)
```

巧妙なモード属性:

```
auth-reconnect
check-parent-zone-acl
config-db-checkpoint-interval
config-db-purge-logs-interval
changeset-db-cache-partitions
changeset-db-cache-size
changeset-db-checkpoint-interval
changeset-db-err-log-enabled
changeset-db-heap-size
changeset-db-hist-max-trim-count
changeset-db-history-kept
changeset-db-log-buffer-size
changeset-db-log-size
changeset-db-logs-trimming-interval
```

changeset-db-max-age  
changeset-db-max-rr-size  
changeset-db-reads-per-transaction  
changeset-db-transaction-interval  
checkpoint-min-interval  
chset-db-lock-count  
do-incr-zone-load  
enforce-min-ttl  
full-reload-recovery-options  
ha-dns-error-handling  
ha-dns-failure-detection-timeout  
ha-dns-max-connect-timeout  
ha-dns-max-frame-size  
ha-dns-max-records  
ha-dns-max-retries  
ha-dns-min-zone-size  
ha-dns-serial-gap-delay  
ha-dns-wait-between-retries  
ha-dns-zonesync-check-interval  
ha-dns-zonesync-failed-timeout  
hierarchical-alphabetic-rr-ordering  
htrim-ddns-between-htrims  
htrim-zone-max-hist-allowed  
htrim-zone-size-check-interval  
htrim-zone-size-to-travel  
ixfr-min-zone-size  
optimistic-ddns-responses  
optimize-zone-lookup  
relax-ixfr-query-validation  
relax-cname-rules  
round-trip-time-limit  
synthesize-aaaa-records  
use-update-optimization  
zone-checkpoint-file-buf-ksize  
zone-db-cache-kbytes

Cisco Prime Network Registrar 8.2 では、DNSサーバアトリビュート「アクティビティ カウンター ログ設定」はフラグとして「アクティビティ <ts font\_id='SimSun' fsize='12' nval='/'>要約型」およびこれらの値の「アクティビティ カウンター ログ設定」として2つの属性に分割されました。以前のリリースのそれが一緒のすべてのフラグとの一つの属性 (アクティビティ カウンター ログ設定) だった一方。

「アクティビティ <ts font\_id='SimSun' fsize='12' nval='/'>要約型」 (統計型) アトリビュートのフラグ:

sample  
total

「アクティビティ カウンター ログ設定」 (統計情報設定) アトリビュートのフラグ:

performance  
query  
errors  
security  
maxcounters  
ha  
ipv6  
datastore

IPAM 8.1.2/8.1.3 フラグ「サンプル」;そして「合計」;アトリビュート「アクティビティ カウンター ログ設定に」、DNS 配備タスク失敗しますエラーと選択されます。このアトリビュートの残りのフラグは IPAM 8.1.2/8.1.3 で設定し、設定は正常に押すことができます。

## リバースゾーン 設定 ページ順方向に編集して下さい

これらの属性および設定 オプションは編集で Cisco Prime Network Registrar 8.2 の順方向/リバースゾーン ページ非難されました。IPAM 8.1.2/8.1.3 のこれらの属性の設定は DNS 配備タスクの失敗に終わります。

### 基本および拡張モード属性:

```
checkpoint-interval
checkpoint-min-interval
dynamic
scvlg-ignore-restart-interval
scvlg-interval
scvlg-max-records
scvlg-max-records-searched
scvlg-no-refresh-interval
scvlg-pause-interval
scvlg-refresh-interval
```

### 巧妙なモード属性:

```
full-reload-recovery-options
name-protection
```

## セカンダリ ゾーン 設定 ページを編集して下さい

これらの属性は Cisco Prime Network Registrar 8.2 の編集セカンダリ ゾーン ページから非難されました。これらの属性の値は IPAM 8.1.2/8.1.3 で値が設定 される場合 DNS 配備タスクが失敗するので設定するべきではありません。

### 基本および拡張モード属性:

```
checkpoint-interval
checkpoint-min-interval
```

### 巧妙なモード属性:

```
full-reload-recovery-options
```

## HA DNS ペア設定 ページ

Cisco Prime Network Registrar 8.2 のいくつかの DNS データベース 拡張の実装の一部として、これらの HA-DNS 属性は DNSサーバ ページから HA ペア ページに移られます。Cisco Prime Network Registrar 8.2 の DNS HA ペアが IPAM 8.1.2/8.1.3 によって管理されれば DNS 配置タスクが失敗するのでこれらの属性が IPAM 8.1.2/8.1.3 の DNSサーバ ページで設定するべきではないこと助言されます。

### 巧妙なモード属性:

```
ha-dns-error-handling
ha-dns-failure-detection-timeout
ha-dns-max-connect-timeout
ha-dns-max-frame-size
ha-dns-max-records
ha-dns-max-retries
ha-dns-min-zone-size
ha-dns-serial-gap-delay
```

```
ha-dns-wait-between-retries
ha-dns-zonesync-check-interval
ha-dns-zonesync-failed-timeout
```

## DHCP Server ページ

これらの属性は Cisco Prime Network Registrar 8.2 の DHCPv6 フェールオーバー 機能の一部として DHCP Server ページから非難されます。これらの属性の値が IPAM 8.1.2/8.1.3 で設定 されれば DHCP 配備タスクは失敗します。

基本および拡張モード属性:

```
ip-history-detail
failover-bulking
failover-poll-interval
failover-poll-timeout
```

巧妙なモード属性:

```
failover
failover-allow-ack-on-update
failover-remote-port
failover-update-retry-time
failover-control-retry-time
failover-update-retry-count
failover-control-retry-count
failover-send-batch-updates
failover-skip-ack-on-update
udp-send-packet-size
```

DHCPサーバ アトリビュートは「Cisco Prime Network Registrar 8.2 でトラップ」を持っていま ず DHCPv6 フェールオーバーの一部としてそれに追加された 2 つの New フラグを ( address6- conflict および prefix6-conflict ) 有効にしました。Cisco Prime Network Registrar 8.2 のフェール オーバー ペアが IPAM 8.1.2/8.1.3 によってそして「イネーブルになったトラップに」追加される New フラグ管理されればアトリビュートは DHCP Server ページで有効に することができません。

## DNS 配備タスク

IPAM 8.1.2/8.1.3 およびそれ以前 リリースでは、DNS 配備タスクが実行されたとき、ユーザは Cisco Prime Network Registrar の全体のゾーン データが IPAM からの新しいゾーン データと取り 替えられなければならない場合「上書きゾーン」オプションを選択できます。

Cisco Prime Network Registrar 8.2 が IPAM 8.1.2/8.1.3 によって管理される場合、タスクの失敗 に終わるのでオプション「上書きゾーン」が DNS 配備タスクの間に選択するべきではないこと が助言されます。

## 要約

IPAM 8.1.2 のすべてのサポートされる機能は Cisco Prime Network Registrar 8.2 と IPAM 8.1.2 Cisco Unified Mobile Agent の「cnrsk」フォルダかサブディレクトリが以前に記述されているよ うにアップデートされる場合正しく動作します。

IPAM 8.1.3 のすべてのサポートされる機能は Cisco Prime Network Registrar 8.2 とデフォルトで

正しく動作します。

Cisco Prime Network Registrar 8.2 のこれらの新しい機能はそれらを直接設定することによる IPAM 8.1.2/8.1.3 によって管理される Cisco Prime Network Registrar 8.2 インストールで on Cisco Prime Network Registrar 8.2 使用することができます:

- CDNS ドメイン リダイレクト
- DHCID RR サポート
- DHCPv6 ダイナミック リース 通知
- DHCPv6 フェールオーバー ( 「トラップ」 アトリビュートに関する制限を除く有効に しました )
- 拡張 な Web UI

## 関連情報

- [Cisco Prime Network Registrar シスコのドキュメント](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

このドキュメントは有用でしたか。 [はい いいえ](#)

フィードバックいただき、ありがとうございました。

[サポート ケースのオープン](#) ( [シスコ サービス契約< ts generic='1' nval='P%1,2%%'が必要ですよ](#) )。

## Cisco サポート コミュニティ - 特集対話

[Cisco サポート コミュニティ](#)では、フォーラムに参加して情報交換することができます。

このドキュメントで使用されている表記法の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Updated: 2015 年 9 月 08 日

Document ID: 117365